

孫世代とのふれあい交流

広田梅林で梅の収穫体験

梅の名所として知られている広田地区では、毎年、梅の収穫時期に地元の小学生らを招き、郷土の名産を次世代に引き継ぐことを目的に交流を行っています。

6月5日、広田小学校3年生の児童60人は、広田梅林ふれあい公園の管理を担う老人クラブ連合会緑地区の会員に収穫のこつを教わりながら、収穫体験を通して交流を深めました。

参加した児童らは、丁寧に梅を収穫しながら「たくさんとれた」「ジュースにしたらおいしい」とうれしそうに話しました。



老人クラブの会員と一緒に梅を収穫する児童ら



淡路島サクラマスを使った給食を味わう児童ら

新たな春の味覚

給食で淡路島サクラマスを提供

市では、自慢の地場食材を学校給食で提供し、地元の食材に親しんでもらうことで、地産地消の食育を推進しています。

6月3日、市内の小中学校および市立幼稚園で、「淡路島サクラマス」を使用した給食が提供されました。市小学校では5年生を対象に教育委員会の担当者が地元産食材の魅力について食育授業を実施。

この日は「淡路島サクラマスのチーズ焼き」が提供され、児童たちは「給食で地元の食材を食べることで、より身近に感じることができました」と笑顔で話しました。

B & G海ゴミフェスティバル支援

西淡中学校生が慶野松原清掃

6月6日、西淡中学校の生徒約200人が夏の海開き行事に先立って、慶野松原の海岸清掃活動を行いました。この活動は、昭和41年に旧御原中学校で当時の生徒会の善意の運動として始められて以降毎年行われ、今年で59回目を迎えました。

参加した生徒らは「みんなで協力して掃除することで、砂浜がとてもきれいになった。今年もたくさんの人に慶野松原に来てもらいたい」と話しました。

生徒の地域を愛する心を育み、身近な環境への関心を高める機会となりました。



協力してごみを拾う生徒ら



ホームページ



Facebook



Instagram



X



LINE



市役所総合窓口センター混雑状況